

令和三年度 統一模試 中学一年夏期テスト (実施時間四十五分間)

国語

注意

- 1 問題用紙は六ページあり、これとは別に解答用紙が一枚あります。
- 2 監督者の指示に従って解答用紙を取り出し、番号と氏名を解答用紙及び問題用紙の決められた欄に記入しなさい。また、解答用紙の「QRコードシールをはる」と書かれたわくの中に、シールをはみ出さないようにはりなさい。
- 3 監督者の「始め」の合図で始めなさい。
- 4 答えは、問題の指示に従ってすべて解答用紙の答えの欄に、はみ出さないように記入しなさい。
- 5 筆記用具は、HBかそれよりも濃いものを用い、文字がうすくならないように注意しなさい。
- 6 監督者の「やめ」の合図ですぐにやめなさい。

氏名	
----	--

次の文章を読んで、あとの1～5の問いに答えなさい。

〔一〕～〔十〕は段落番号を示す。

「世界で一番わかりにくいのは、日本語とアラビア語だ」と外国人はこんなふう文句を言うらしい。まあ、たしかに日本語というのはかなり変わった言語体系ではあります。

〔一〕

じつは、日本以外の世界に住んでいる多くの人がバイリンガルだともいえます。ひとつに限らずいろんな言語を話せることが多い。

5

「アメリカだったら、英語だけでなく、むしろスペイン語のほうが通用する地域というのもある。同じように、どの国でもたいてい二カ国語くらいは通用することが多い。

〔二〕

それに引き換え、日本人はモノリンガルだといえるでしょう。日本語以外の言語が通用する地域というのは、まずありえない。日本語というの言葉と国籍が直結した、いわば体質的な言語だということ。だから外国語を話すことが下手なのではないかと言われてしまう。

〔三〕

その考えはたしかに成り立つ。ただ私は、逆にこんなふうにも思うんです。「日本語ほどバイリンガルな言葉はないのかもしれない」と。

〔四〕

日本語には「かな」と「漢字」がありますよね。この二つは、姿も体系もまったく異なっている。「かな」から「漢字」へ、「漢字」から「かな」へ、私たち日本人はそのひとつひとつの切り替えを、読むときばかりでなく話すときも瞬時にこなしているんです。パソコンだったらこの変換は機械がやってくれるわけだけど、日常的なやりとりではそうはいかない。その膨大な量の変換を常に頭の中で行うことになる。そりゃ疲れるはずですよ。

〔五〕

20

そのぶん、翻訳の作業は非常にうまい。それから、外国から入ってきた技術を理解して覚えるのも、とてもうまいといえます。

〔六〕

明治維新のとき、西洋文明の流入と同時に、それまでの日本語の概念になかった言葉も大量に入ってきました。日本人は、それらになんとか漢字をあてて訳して使ったわけです。たとえば「認識」とか「観念」だとかが代表的な例ですね。それを明治の初めのうちに見事にやっつけた。これは、皆さんが想像している以上に高度な作業なんですよ。

〔七〕

こんなふうに「かな」と「漢字」という、まったく異なった姿のものを同時に使いこなしてきたのが日本人の特殊性であり特長ともいえるでしょう。これに対し、合理化が進む現代においては、「こんな煩わしいことはやめろ、いつそ標準語を英語にしまえ」という考え方もあります。実際、すでに社員全員に英語をしゃべらせている会社もあるくらいです。たしかに、外国人との伝達の際にはメリットがあるでしょう。しかし母国語を失った国というのはじつに惨めなものです。

〔八〕

伝統というのは、まさしく「言葉」なんです。その言葉を奪われてしまうということは、足場がない状態とまったく同じ。立つにも歩くにも走るにも、ただ外国の模倣に頼ることになる。そもそも日本がこれまで長い歴史の中で築いてきた伝統は、西洋の伝統とはずいぶん異なっています。その基礎を捨て去って、今さらまるごと西洋から借りなければならぬなんて、人間の文化にとってこれほど悲惨なことはない。

〔九〕

日本は現代社会を形作るうえで、その文明を借りてきたはいいけれど、今になって行き詰まってしまった。そして残念なことに西洋の文

45

明の力では、この行き詰まりの是正<sup>ゆぜせい</sup>がなかなかできない。でも、東洋の文明、さらにいえば日本独自の伝統なら、その行き詰まりをやわらげるか、是正する力になるかもしれない。そう考えると、伝統というのはそう簡単に手放してはいけないものだということがわかるでしょう。

(十)  
50

(古井由吉「言葉について」(考える方法〈中学生からの大学講義2〉所収)による。一部改変等がある。)

(注) バイリンガル言語を二つ習得している人。

モノリンガル言語を一つのみ習得している人。

是正悪い点を改めて正しくすること。

1 本文中の□にあてはまる語として最も適当なものを次から選び、記号で答えよ。

ア さて イ また ウ ところが エ たとえば

2 (四) 段落が、本文中で果たしている役割を説明したものととして、最も適当なものを次から選び、記号で答えよ。

ア ここまでの内容を肯定<sup>こうてい</sup>しつつ同様の考え方を示すことで、話題を際立たせる役割。

イ ここまでの内容を肯定しつつ異なる考え方を示すことで、観点を変える役割。

ウ ここまでの内容を否定しつつ全く別の話題を示すことで、主題を導き出す役割。

エ ここまでの内容を否定しつつ補足説明をすることで、自分の意見を強調する役割。

3 次の文は、——線部①「翻訳の作業は非常にうまい」について、その理由を説明したものである。□にあてはまる言葉を、「異なった姿」、「変換」という二つの語句を用いて二十字以内で書け。

日本人は、□ことができるから。

4 次の文は、——線部②「足場がない状態」を言い換えて説明したものである。□ I ・ □ II に適当な言葉を補え。ただし、□ I ・

□ II にはそれぞれ二字の言葉を本文中からぬき出して書くこと。

□ I は独自の伝統を作り上げる □ II となるものであるが、それを捨て去ってしまった状態。

5 本文における筆者の考えとして、最も適当なものを次から選び、記号で答えよ。

ア 日本独自の伝統には、現代社会で起こる様々な問題を解決できる可能性が秘められている。

イ どの国でも二カ国語くらいは話せることが多いので、今後、日本もそのような教育を進めるべきである。

ウ 日本の発展を考えると、今後は明治維新の時のように、西洋文明をさらに取り入れる必要がある。

エ 「かな」と「漢字」の存在は、グローバル化した現代社会においては必要性が失われつつある。

次の文章を読んで、あとの1〜5の問いに答えなさい。

小学校五年生のワタルは、児童会選挙で児童会長に立候補したトシの応援演説をしている。

ワタルは長く息を吐く。また吸って、そして話し始める。

「トシちゃんは多分、すぐ眩しい光です。強すぎる光だから、みんな側に寄って来ます。何でもできる、何でも持っているトシちゃんが羨ましくて、みんな友達になろうとします。でも、なれない人もいます。光が強いから、それに耐えられなくなつて、それが手に入らないことが悔しくて、友達をやめていく人もいます。(中略)初めからトシちゃんとなんか友達になりたくなかつたんだ、トシちゃんのことなんか最初から嫌いだったんだと思う方が、トシちゃんの強い光に耐えて友達でいるより、ずっとずっと簡単だからです。

でもそれは、トシちゃんのせいじゃありません。」

10

集会の最後なのに、無駄口を叩く生徒が誰一人としていなかった。

「俺も、トシちゃんのこと羨ましい時がたくさんあります。トシちゃんと比べて、何で俺はこんななんだろうと落ち込むこともあります。でも俺は、トシちゃんと友達でいることに決めました。絶対にトシちゃんを妬んだりしないで済むように、トシちゃんの友達に相応しい男になろうって決めました。」

これはトシちゃんにも話したことがないから――」

ワタルが照れたように笑った。

「トシちゃんは今、そんなことする必要ないって言うかもしれない。それでも友達でいてくれるって言うかもしれない。でも、これはトシちゃんじゃなくて、俺の問題です。俺がトシちゃんの友達でいたいから、いたいなら追いつかなくちゃダメなんです。そうでないと、俺が

20

トシちゃんを眩しくなって離れて行っちゃうかもしれないから。トシちゃんの悪口を言うようなことだけは、絶対にしたくありません。」

ワタルが顔をふいに下に向ける。その場で目が合った先生に尋ねた。25

マイク越しのでかい声で。

「すみません、演説の時間もうおしまいですか。やめた方がいいですかー?」

ワタルの声に、生徒の中から **A** 笑いが起こる。その時だった。

体育館の後ろから「続けるー。」という声が聞こえた。マイクのワタルの声に負けない、大きな、ハヤカワ先生の声だった。

「構わないよー、続けなさい。先生が聞きたい。」

「ありがとう、先生。」

ワタルはにっこりと笑った。先生に親指を立てるサムズアップのポーズを送った。体育館の後ろ、先生がそれに同じ手の形を返すのが見えた。

35

「ええと、だからね、トシちゃん。」

後ろにいるトシに向けて、前を向いたままワタルは言った。

「トシちゃん、どこに行っても何になってもいいんだよ。」

そう叫んだ。

40

「どこに行っても、何になっても、俺は絶対に追いつくから。追っかけてくから。トシちゃんの友達でいるために、ずっと努力するから。空手も勉強も頑張るから。だから、トシちゃんは後ろのことなんか見なくてもいいです。すごいものを手に入れて、すごい人になつてください。まずは」

45

ワタルがとびきり大きく息を吸い込んだ。

「児童会長になつてください。みんな、トシちゃんをよろしくお願います。」

そうやって、**B** 頭を下げる。あたりが **C**、静かになった。拍手が、他の演説より一呼吸遅くやってきた。それを受けて、ワタルが嬉しそうにへへつと笑う。傷だらけの顔が、満足そうな笑顔を作った。

応援演説の内容じゃないよな、とトシは思う。応援演説はもつと、會長になつたらきつとこうしてくれるとか、すぐく本人にやる気があるとか、そういうことを訴えるためのものだ。ワタルはそこをちよつと勘違いしている。が、もうこれ以上は何もいらな**④**いと思つた。

そうだよ、ワタル。後悔してない。お前と友達になれて本当に良かった。

(辻村深月「ロードムービー」による)

(注) ハヤカワ先生Ⅱワタルやトシたちの学級担任の先生。

1 本文中の **A** **C** にあてはまる語として最も適当なものを、次から一つずつ選び、記号で答えよ。

ア 深々と イ どつと ウ じつと エ しんと

2 次の文は、——線部①について、みんながトシのことを「眩しい光」だと感じる理由を、ワタルがどう考えているかを説明したものである。□ にあてはまる言葉を、「手」という語を用いて二十五字以内で書け。

トシのことを自分と比べて□とみんなが感じるからだ  
とワタルは考えている。

3 次の文は、——線部②について、このときのワタルの気持ちについて、本文をふまえてまとめたものである。□Ⅰ・□Ⅱに適当な言葉を補え。ただし、□Ⅰ・□Ⅱにはそれぞれ八字の言葉を本文中からぬき出して書くこと。

今のまま自分がトシに追いつけなくても、トシはそれでも□Ⅰと言いかもしれないが、自分はトシに追いついて、トシの□Ⅱになつて、ずっと友達でいたいと思つた。

4 ——線部③では、トシの将来に対するワタルの思いが述べられている。これと同様に、トシの将来に対するワタルの思いが述べられている部分を、本文中から十五字でぬき出して書け。

5 ——線部④におけるトシの気持ちとして最も適当なものを次から選び、記号で答えよ。

ア ワタルは応援演説の時間を正確に把握できていないと思つたが、時間内にうまくまとめて演説をしてくれたのですばらしいと思つている。

イ ワタルは応援演説がうまくできないかもしれないと思つたが、先生を含めたみんなを感動させる演説をしたので意外に思つている。

ウ ワタルは応援演説で訴えるべきことを誤解していると思つたが、ワタルの自分への思いを感じ、ワタルと友達になれて良かったと改めて思っている。

エ ワタルは応援演説を自らが目立つたためのものだと思つたが、嬉しく思つたが、応援演説にふさわしい内容を話してくれたので嬉しく思っている。

**3** 次の1～6の問いに答えなさい。

1 ( ) 中の言葉は、二字熟語の読みを平仮名で表したものである。仮名遣いが**適当でない**ものを二つ選び、記号で答えよ。

- ア 鼻血(はなぢ)    イ 女性(ぢよせい)  
ウ 地面(ぢめん)    エ 底力(そこちから)

2 次の(1)・(2)の四字熟語の□にはそれぞれ意味が反対の漢字があてはまる。例にならってそれぞれの□にあてはまる漢字を書き、四字熟語を完成させよ。

例 針小棒大 (物事を大げさに言うこと。)

(1) 起□回□ (絶望的な状況を立て直し、一気によい方向に立て直すこと。)

(2) □口□音 (多くの人の意見が一致すること。)

3 次の①・②のことわざの□にあてはまる生き物の名前を書け。

① □も歩けば棒に当たる

(物事をしようとするものは、それだけに災難にあうことも多い。)

② 能ある□は爪を隠す

(本当に力のある者は、みだりにそれをひけらかさない。)

4 次の(1)・(2)の文には ( ) の意味を持つ慣用句がふくまれる。□にあてはまる体の一部を表す言葉を書け。

(1) 明日からの旅行に、ぼくたちは□をおどらせた。

(期待、興奮などでうきうきして心が落ち着かないこと。)

(2) 経済発展がいちじるしいこの国は、先進国と□を並べるまでに成長した。

(対等の位置に立つこと。)

5 次の①・②の文における主語と述語をそれぞれ選び、記号で答えよ。

① ア兄は イ父の ウ誕生日に エ腕時計を オプレゼントした。

② ア山の イ上に ウある エ建物が オわたしたちが カ通っている キ中学

校だ。

6 敬語の使い方が**適当でない**ものを次から選び、記号で答えよ。

ア 先生、お元気でいらっしゃいますか。

イ 先生、一緒に給食をいただいでください。

ウ 先生、一階の掲示板をご覧になりましたか。

エ 先生、私達もすぐにそちらにまいります。

4

次の1～3の問いに答えなさい。

1 線部のカタカナは漢字に直し、漢字は仮名に直して書け。

(1) 商業系のシカクを取る。

(2) フソクの事態に備える。

(3) この単語の由来にはシヨセツがある。

(4) 私の父は図書館にツトめていてる。

(5) 運動会で苦い思いをした。

(6) 近くの沿岸を歩く。

(7) 店の損益を考える。

(8) 体調が悪かったので安静にしていた。

2 次の漢字の部首名を書け。

# 複

3 次の楷書で書かれた漢字の○で示した部分に使われている筆づかいは何か。最も適当なものをあとから選び、記号で答えよ。

# 見

ア 反り    イ 折れ    ウ 曲がり    エ はらい

5

あなたは中学生の三年間でどんな種類の本を読んでみたいか。次の(1)～(3)の条件に従って書きなさい。

(1)～(3)の条件に従って書きなさい。

## 条件

(1) 中学生の三年間で読んでみたい本の種類を一つ取り上げて、それを取り上げた理由を、自分の体験や見聞などの具体例をふくめて書きなさい。

(2) 六行以上八行以下で書くこと。

(3) 原稿用紙の正しい使い方に従って、文字、仮名遣いも正確に書くこと。

